



2022年9月14日

各位

会社名 ラクスル株式会社
 代表者名 代表取締役社長 CEO 松本 恭攝
 (コード: 4384、東証プライム市場)
 問合せ先 取締役 CFO 永見 世央
 (TEL. 03-6629-4893)

2022年7月期連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ

2022年6月10日に公表いたしました2022年7月期(2021年8月1日~2022年7月31日)の連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2022年7月期通期連結業績予想と実績の差異(2021年8月1日~2022年7月31日)

	売上高	売上総利益	営業利益	non-GAAP EBITDA	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回公表 予想(A)	33,400 ~33,800	9,600 ~9,800	330 ~380	1,440 ~1,540	△250 ~△200	880 ~930	30.00 ~32.00
実績(B)	33,980	9,803	462	1,634	△167	1,021	35.39
増減額 (B-A)	180 ~580	3 ~203	82 ~132	94 ~194	33 ~83	91 ~141	3.39 ~5.39
増減率 (%)	0.5 ~1.7	0 ~2.1	21.8 ~40.3	6.1 ~13.5	—	9.9 ~16.1	10.6 ~18.0

(注1) non-GAAP 業績値は、財務会計上の数値(GAAP、日本基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社の恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社は non-GAAP ベースで予想値を開示しております。具体的には、株式報酬費用、減価償却費及びのれん償却費を中心に、当社が控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

(注2) 2021年7月期は連結決算を行っていないため、前年実績は記載しておりません。

2. 差異の発生理由

当期においては、まん延防止等重点措置の継続的発令や仕入コストの高騰、スタートアップ企業を取り巻く資金調達環境の変化等の外部環境の影響を一定受けた中で、プライシングの見直しやターゲットとする顧客層のシフトなど機動的な施策を講じつつ、継続的に当社サービスの価値向上に取り組んだ結果、売上高及び売上総利益については前回公表予想値の上限付近を推移いたしました。

これに加えて、販管費においてもより投資効率を重視したコストコントロールを継続したことにより各段階損益、並びに当社が重要指標としている non-GAAP EBITDA については、前回公表予想値を大幅に上回る結果となりました。

以上